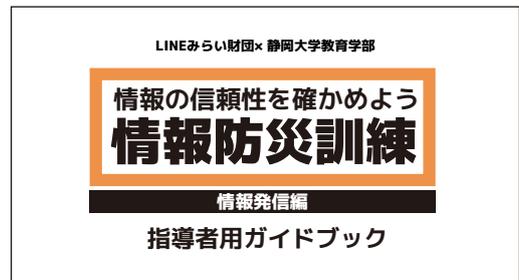


LINEみらい財団 × 静岡大学教育学部

情報の信頼性を確かめよう
情報防災訓練

情報発信編

指導者用ガイドブック



CONTENTS

03 はじめに／メッセージ

一般財団法人LINEみらい財団

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 総合防災情報センター長 白田 裕一郎

静岡大学教育学部 学校教育講座准教授 塩田真吾

04 この教材について

05 指導演

06 指導演（ショートバージョン）

07 スライドを用いた授業展開例

12 ワークシート／カード教材

この教材の内容



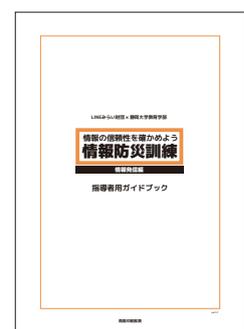
スライドデータ



ワークシート



カード教材



指導者用ガイドブック

はじめに

近年、地震や台風、豪雨、豪雪など自然災害が猛威を振るっています。いつ起こるかわからない自然災害では、災害が起きた際に命を守るだけでなく、災害後にどのように行動するかについても日頃からの備えや訓練が重要になります。また、災害時には、安否や被害状況を確認、共有するために「情報」が大きな役割を担います。SNSの普及で様々な情報をたくさんの人と素早く共有できるようになり、防災においてもSNSの重要性が高まっています。

しかし、こうした災害時には、不安や混乱から間違った情報や不安を煽る情報（いわゆるデマやフェイクニュース）も発生しやすくなります。「人を騙してやろう」という悪意ではなく、「人の役に立つだろう」といった善意の気持ちからデマやフェイクニュースを拡散してしまうこともあります。

こうした背景から、「だいふく」（だ：誰が言ったのか、い：いつ言ったのか、ふく：複数の情報を確かめたのか）をキーワードとして、デマやフェイクニュースの

見極め方を訓練する「情報防災訓練」を2020年3月にリリースし、多くの学校で活用いただきました。

今回は、「情報防災訓練」の第2弾として「情報発信編」を開発しました。災害発生時には、多くの情報を集めることで被害状況を把握することができますが、不完全な情報の発信は、かえって混乱をきたす可能性もあります。そこで本教材では、どんなところに着目して情報を発信すればよいかを、「あまい」（あ：安全を確認しよう、ま：間違った情報にならないかな、い：位置情報を上手に使おう）をキーワードとして、学ぶことができます。

これまでの災害時に「守られる存在」であった子どもたちは、災害時に素早く情報を集めたり、安否情報や被害情報を発信したりすることで、地域防災に貢献できる可能性を秘めています。ぜひ本教材をご活用いただき、各学校で「情報防災訓練」を実施いただくことで、情報という側面で地域防災に貢献できる子どもたちを育てていただければ幸いです。

メッセージ

一般財団法人LINEみらい財団

SNSは、情報の発信や収集を即時に行うことができるため、災害時における貴重な情報源と言えます。一方で、災害時に間違った情報や誤解を招く情報がSNS上で拡散されてしまうと、混乱や不安を招くおそれがあるだけでなく、場合によっては、取り返しのつかない事態を引き起こすきっかけにもなり得ます。本教材では、どのような点に気を付けて情報を発信したらよいか身に付けていただき、災害時の情報発信に役立てていただくことで、皆さんの行動が、それぞれの地域における防災・減災へとつながっていくことを願っています。

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 総合防災情報センター長 白田 裕一郎

スポーツでも何でも、本番に向けて練習するように、防災でも訓練はとても重要です。この「情報防災訓練」が画期的なのは、「防災訓練=避難訓練」という固定観念を打ち破っていること、そして、この時代に必要不可欠である「情報」に焦点を定めていることです。第2弾は「自分の身を守る」だけでなく、「みんなに貢献する」ことを視野に入れていきます。新しい時代の防災をみんなで築いていく、その先駆けとしてご活用いただくことを期待しています。

静岡大学教育学部 准教授 塩田真吾

今回の「情報防災訓練」第2弾の「情報発信編」では、「あまい」（あ：安全を確認しよう、ま：間違った情報にならないかな、い：位置情報を上手に使おう）をキーワードにしています。まずは安全が第一で、その後に正しく情報発信を行ってほしいという願いから命名しています。

ぜひ第1弾の「だいふく」（だ：誰が言ったのか、い：いつ言ったのか、ふく：複数の情報を確かめたのか）とあわせて学習いただき、「だいふくあまい」を災害時の情報活用のキーワードとしてご活用いただければ幸いです。

プロフィール：早稲田大学大学院博士課程修了、博士（学術）。静岡大学助教、講師を経て現職。専門は、教育工学、情報教育、授業デザイン。「社会とつながる授業」をテーマに、様々な企業と連携しながら「授業デザイン」について工学的に研究している。主な著書に、『行動改善を目指した情報モラル教育』（2018）などがある。

この教材について

この教材のねらいと活用のポイント

本教材は、災害時における情報発信について、どのような点に気をつけながら行えばよいかを考えることで、SNSを通じて防災に貢献できることに気づき、防災への意識を高めることをねらいとしています。

そのために、大きく3つのポイントがあります。

◆ポイント① 災害時の「情報発信のポイント」を学ぶ

災害発生時には、多くの情報を集めることで被害状況を把握することができますが、不完全な情報の発信は、かえって混乱をきたす可能性もあります。そこで本教材では、どんなところに着目して情報を発信すればよいかを、「あまい」（あ：安全を確認しよう、ま：間違った情報にならないかな、い：位置情報を上手に使おう）をキーワードとして、学ぶことができます。

◆ポイント② 「守られる存在」から「貢献できる存在」へ

子どもたちは、災害時に「守られる存在」でしたが、SNSに触れることの多い子どもたちは、災害時に素早く情報を集めたり、安否情報や被害情報を発信したりすることで、地域防災に貢献できる可能性を秘めています。本教材では、SNSを通じて防災に貢献できることに気づき、防災への意識を高めることができます。

◆ポイント③ 15分で実施できる「ショートバージョン」を用意

今回の教材では、15分の短い時間でできる「ショートバージョン」の教材を用意しております。防災訓練の後の時間や学級活動などの時間で、取り組んでいただければ幸いです。また、地域防災という観点から、公開授業等で地域の方々と一緒に考えることも効果的です。

授業の設定

【小学校高学年・中学校・高等学校】

■実施時間 50分（ショートバージョンは15分）

■対応教科及び領域 総合的な学習の時間、学級活動、情報など

準備するもの

- スライドデータ
- パソコン、プロジェクタ・スクリーン
- カード教材
- ワークシート 1人1枚
- 指導者用ガイドブック

準備するもの（ショートバージョン）

- ワークシート 1人1枚

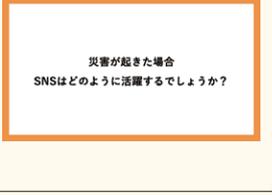
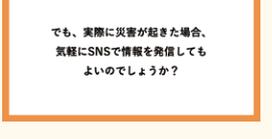
指導案 (50分)

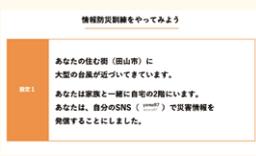
時間	学習活動	準備物等
5分	<p>1. 災害時における情報の入手方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時、応急期、復旧期、それぞれでのSNSの活用 ・災害発生時：SNSで情報を集めて被害状況を把握する試み ・応急期：SNSで物資の提供をよびかけ ・復旧期：SNSでボランティアの呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○スライド ○PC、モニター等
20分	<p>2. 情報防災訓練をやってみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あなたの住む街（田山市）に大型の台風が近づいてきています。あなたは家族と一緒に自宅の2階にいます。あなたは、自分のSNS（ yama87 ）で災害情報を発信することにしました。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・11:50の情報としてA～Dの情報を読み、SNSで発信してもよいかどうか決める。 ・16:10の情報としてE～Hの情報を読み、SNSで発信してもよいかどうか決める。 ・グループ、クラスで共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ○スライド ○カード教材 ○ワークシート
10分	<p>3. 災害情報を正しく発信するには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害情報を正しく発信するためには、どんなことに気をつければよいだろう？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>災害情報の発信は、「あまい」を意識しよう あ…安全を確認しよう ま…間違った情報にならないかな？ い…位置情報を上手に使おう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・カードの情報を「あまい」で考えてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○スライド ○カード教材 ○ワークシート
10分	<p>4. 被害状況を発信してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼性の高い情報（日時、状況、写真、位置情報）を伝えよう <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>16時ごろ、田山西のコンビニ前の状況です。このような被害状況を、どのように伝えますか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・状況が変わったら、その状況を発信することも重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○スライド ○ワークシート
5分	<p>5. まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に気をつけて、信頼性の高い情報を発信するようにしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○スライド

指導案 (ショートバージョン・15分)

時間	学習活動	準備物等
5分	<p>3. 災害情報を正しく発信するには</p> <p>・災害情報を正しく発信するためには、 どんなことに気をつければよいだろう？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>災害情報の発信は、「あまい」を意識しよう あ…安全を確認しよう ま…間違った情報にならないかな？ い…位置情報を上手に使おう</p></div>	○ワークシート
10分	<p>4. 被害状況を発信してみよう</p> <p>・信頼性の高い情報（日時、状況、写真、位置情報）を伝えよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>16時ごろ、田山西のコンビニ前の状況です。 このような被害状況を、どのように伝えますか？</p></div> <p>・状況が変わったら、その状況を発信することも重要</p>	○ワークシート

スライドを用いた授業展開例

時間	展開	スライド	台本
5分	情報の入手方法		<p>1. 災害時における情報の入手方法</p> <p>授業をはじめます。 今日は、災害時に、どのようなことに気を付けて情報を発信していけばいいか、一緒に考えましょう。</p>
			<p>みなさんは、様々なSNSを利用することがあると思いますが、災害が起きた場合、SNSはどのように活躍するのでしょうか？ 少し考えてみましょう。</p>
			<p>災害が起きた場合、3日間を災害発生時、2週間以内を応急期、2週間以降を復旧期と言います。</p>
			<p>災害発生時には、このようなSNSの活用事例があります。 災害発生時は、被害情報が少なく、SNSの情報は貴重になりますが、デマやフェイクニュースも流れやすいので注意が必要です。</p>
			<p>最近では、災害時に情報を集めて、被害状況を把握する取り組みも始まっています。 SNSでたくさんの情報を集めることで、信頼性を高めて情報を提供しています。</p>
			<p>応急期には、このようにSNSで物資の提供をよびかけるなどのSNSの活用事例があります。もちろん個人でもSNSで呼びかけることができますが、市役所の情報と重なってしまうと対応に困ることもあるため、注意が必要です。</p>
			<p>復旧期には、このようにSNSでボランティアの呼びかけをする活用事例もあります。このような呼びかけも、同じような情報が複数あると、対応に困る場合もありますので、まずは情報が掲載されていないかを調べるようにしましょう。</p>
			<p>このように、災害時にはSNSが活躍することがありますが、実際に災害が起きた場合、気軽にSNSで情報を発信してもよいのでしょうか？</p>

時間	展開	スライド	台本
20分	情報 防災訓練	 <p>情報防災訓練をやってみよう</p> <p>あなたの住む街（田山市）に大型の台風が近づいてきています。</p> <p>あなたは家族と一緒に自宅の2階にいます。</p> <p>あなたは、自分のSNS（)で災害情報を発信することにしました。</p>	<h2>2. 情報防災訓練をやってみよう</h2> <p>このことを考えるために、情報防災訓練をやってみましょう。</p> <p>まず設定を説明します。</p> <p>あなたの住む街（田山市）に大型の台風が近づいてきています。</p> <p>あなたは家族と一緒に自宅の2階にいます。あなたは、自分のSNSで災害情報を発信することにしました。</p> <p>まず、手元のAからDのカードを机においてください。この4枚のカードの情報について、発信してもよいかどうかを考えてみましょう。</p> <p>発信しても大丈夫だと思えば青いところに、発信してもよいか悩むと思えば黄色のところに、発信しないほうがよいと思えば赤いところに置いてください。</p> <p>次の情報です。</p> <p>あなたの住む街（田山市）からは台風が去っていきました。あなたは街に出て、自分のSNSで災害情報を発信することにしました。</p> <p>手元のEからHのカードを机においてください。この4枚のカードの情報について、発信してもよいかどうかを考えてみましょう。</p> <p>発信しても大丈夫だと思えば青いところに、発信してもよいか悩むと思えば黄色のところに、発信しないほうがよいと思えば赤いところに置いてください。</p> <p>考えたら、グループで共有しましょう。クラスで共有してみましょう。</p>
10分	正しく 発信するには	 <p>情報防災訓練をやってみよう</p> <p>災害情報を正しく発信するためには、どんなことに気をつければよいだろうか？</p> <p>災害情報を正しく発信するには、「あまい」を意識しよう</p> <p>あ 安全を確認しよう</p> <p>ま 間違った情報にならないかな？</p> <p>い 位置情報を上手に使おう</p>	<h2>3. 災害情報を正しく発信するには</h2> <p>災害情報を正しく発信するためには、どのようなことに気をつければよいのでしょうか。</p> <p>気をつけるポイントを考えて、グループで共有しましょう。</p> <p>災害情報を発信するには、「あまい」を意識してほしいと思います。</p> <p>「あ」は、安全を確認しようです。まずは自分や他者の安全を確認することがなによりも重要です。</p> <p>「ま」は、間違った情報にならないかな？です。自分の発信した情報が誰かに勘違いされないかどうかをよく考えてから発信する必要があります。</p> <p>「い」は、位置情報を上手に使おうです。位置情報がないと、どこの場所で起きた災害情報なのかがわかりません。</p>

時間	展開	スライド	台本
			<p>今回の8枚のカードを、「あまい」で考えてみましょう。</p>
			<p>まず、AとDを見てみましょう。 「安全」という観点から考えてみると、Aは、田山川の状況も大切ですが、それよりも自分の安全を確保することの方が重要です。 Dのように自分がどこにいて、どのような状況なのかを伝えるのはとても有効です。</p>
			<p>また、SNSで救助要請を行う場合もありますが、この場合はSNSで情報発信をする前に、まずは119番に連絡することが重要です。 SNSでの救助要請だけでは、迅速な救助につながらない可能性もあります。</p>
			<p>次に、CとFを考えてみましょう。 「間違った情報」で考えてみると、Cはきちんと元情報を示していますが、Fはそれがありません。 情報を拡散させる場合には、本当に信頼できる情報かどうかを確かめる必要があります。 では、本当に信頼できる情報をどう確かめればよいのでしょうか。</p>
			<p>情報の信頼性は、「だいふく」で見極めましょう。 誰が、いつ、言ったのか。 そして複数の情報を確かめることで信頼性を確認し、発信するようにしましょう。</p>
			<p>さらに、GとHを見てみましょう。 Gは、田山橋下が水没していることがわかりますが、Hの倒木はどこの場所なののでしょうか。 こうしたことを防ぐために、位置情報を使いましょう。 どこの場所なのかを伝えることが重要です。</p>
			<p>しかし、すべての情報に位置情報を使ってもよいのでしょうか。 BとEの写真に位置情報をつけて発信してしまうと、自分の家の場所や友達の家が場所が発信されてしまいます。 個人情報が特定されないように気をつけましょう。</p>

時間	展開	スライド	台本
			<p>災害情報を発信するには、「あまい」を意識し、安全に気をつけて、信頼性の高い情報を発信するようにしましょう。</p>
10分	発信してみよう		<h4>4. 被害状況を発信してみよう</h4> <p>では、「あまい」を意識して、発信する訓練をしてみましょう。</p> <p>この写真は、16時頃の田山西のコンビニ前の状況です。このような被害状況をどのように伝えればよいでしょうか。ワークシートに記入してみましょう。</p> <p>記入が終わったら、グループで共有しましょう。クラスで共有してみましょう。</p>
			<p>1、2、3、どの情報発信がわかりやすいでしょうか。</p> <p>Aは、どこの場所かわかりません。少なくとも2のように場所を示すことが必要です。</p> <p>さらに、3のように、時刻や状況を示すと伝わりやすくなりますね。</p>
			<p>よりよい発信の仕方としては、まず、被害状況が誤解されにくいように日時や現在の状況を入れます。</p> <p>次に、安全に気をつけて写真を撮影し、個人情報に気をつけて位置情報を追加します。</p> <p>その時、ハッシュタグで#田山市災害のように入れておくと、他の人が情報を見つけやすくなります。このハッシュタグの内容は、自治体でアナウンスがあればそれに従うとよいでしょう。</p>
			<p>さらに、状況が変わったら、その状況を発信することも重要です。</p>
			<p>こうした情報の更新がないままにしておくと、結果的に間違った情報として受け取ってしまい、誰かを不安にさせたり混乱させてしまうかもしれないので、注意してください。</p>

時間	展開	スライド	台本
5分	まとめ		<h3>5. まとめ</h3> <p>情報を発信する際は、安全に気をつけて、日時、状況、写真、位置情報を入れて、信頼性の高い情報を発信するようにしましょう。</p>

ワークシート

情報の信頼性を確かめよう
情報防災訓練
情報発信編

年 組 名前



あなたの住む街（田山市）に大型の台風が近づいてきています。
あなたは家族と一緒に自宅の2階にいます。
あなたは、自分のSNS（yama87 @yama87）で災害情報を発信することにしました。

発信しても大丈夫	発信してよいか悩む	発信しない方がよい

情報の信頼性を確かめよう
情報防災訓練

情報発信編

年 組 名前

考えてみよう

16 時ごろ、田山西のコンビニ前の状況です。
 このような被害状況を、どのように伝えますか？




yama87
 @yama87



📍 田山市田山西 4 丁目

2022/02/12 16:30

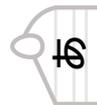

yama87
 @yama87



📍 田山市田山西 4 丁目

2022/02/12 16:30

「あまい」を意識して、被害状況を発信してみよう



安全を確認しよう



間違った情報にならないかな？



位置情報を上手に使おう

カード教材

<p>10:30</p> <p>A yama87 @yama87</p> <p>田山川を員に行って実況します！ もうすぐあふれそうという情報アリ。</p> <p>2022/07/29 10:30</p> <p>5 コメント 2 シェア 30 いいね</p>	<p>10:25</p> <p>B yama87 @yama87</p> <p>家の前が川みだりになってきた。</p>  <p>◎ 田山市田山西 5 丁目</p> <p>2022/07/29 10:25</p> <p>4 コメント 3 シェア 22 いいね</p>	<p>11:46</p> <p>C yama87 @yama87</p> <p>市役所の情報です。</p> <p>☐ あなたがシェアしました。</p> <div data-bbox="454 795 654 1052" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>田 田山市役所 @tuyama87_jichitai</p> <p>田山川の水位が避難判断水位に近づいています。お年寄りの方など避難に時間がかかる方は、避難を開始してください。</p> <p>2020/07/29 11:30</p> </div> <p>2022/07/29 11:46</p> <p>8 コメント 10 シェア 32 いいね</p>	<p>11:50</p> <p>D yama87 @yama87</p> <p>今は、自宅で待機しています。無事です。</p> <p>2022/07/29 11:50</p> <p>5 コメント 3 シェア 28 いいね</p>
<p>16:00</p> <p>E yama87 @yama87</p> <p>1組の佐藤君の家が水没してる！</p>  <p>◎ 田山市田山西 4 丁目</p> <p>2022/07/29 16:00</p> <p>1 コメント 4 シェア 10 いいね</p>	<p>16:30</p> <p>F yama87 @yama87</p> <p>聞いた話だけど、18時から田山市役所で食べ物を配るらしいよ。</p> <p>☐ あなたがシェアしました。</p> <div data-bbox="1101 1131 1268 1388" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>NK niko23 @niko23</p> <p>bousai123 が、18時から田山市役所で食べ物配布するみたいだよ！</p> <p>2022/07/29 15:30</p> </div> <p>2022/07/29 16:30</p> <p>8 コメント 5 シェア 22 いいね</p>	<p>17:00</p> <p>G yama87 @yama87</p> <p>17時ごろの田山橋下。水没しているから気を付けて！</p>  <p>◎ 田山市田山西 2 丁目</p> <p>2022/07/29 17:00</p> <p>20 コメント 5 シェア 36 いいね</p>	<p>17:20</p> <p>H yama87 @yama87</p> <p>ここ、木が倒れてて危ない。</p>  <p>2022/07/29 17:20</p> <p>4 コメント 5 シェア 19 いいね</p>

本教材における著作権等の知的財産権はLINEみらい財団に帰属します。無断での複製、改変、頒布、転載は禁止します。但し、本ガイドブック「ワークシート」「カード教材」に限り、授業に必要な数の複製を認めます。

LINEみらい財団 × 静岡大学教育学部

情報の信頼性を確かめよう
情報防災訓練

情報発信編

指導者用ガイドブック

2022年3月 初版発行

発行者 一般財団法人LINEみらい財団
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目6番1号
四谷タワー23階

共同研究者 静岡大学 教育学部 学校教育講座
准教授 塩田真吾

制作協力 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
総合防災情報センター長 白田 裕一郎

装丁・デザイン 一般財団法人LINEみらい財団